

情報の出し手(行政)

情報の受け手(市民)

自分たちのまちは自分たちで創る！

情報を届ける

- ①積極的・継続的発信
- ②目的・対象者・媒体・時期の確認
- ③情報にインパクトを!!
 - ・インパクトのある構成⇒情報が目に留まる
 - ・インパクトのある内容⇒情報について考える

ステップアップ

- ・ニュースの要素や背景・解説を十分に
- ・受けての疑問を丁寧に拾い上げ返答する

- ④情報の流れ・浸透
 - ・行政の横の連携

ステップアップ

- ・見られる項目と見られない項目の組み合わせ(市政だより等)
- ・市政だよりと区だよりの役割や伝える内容を明確に
- ・局を越えた調整、本庁・区役所の役割分担

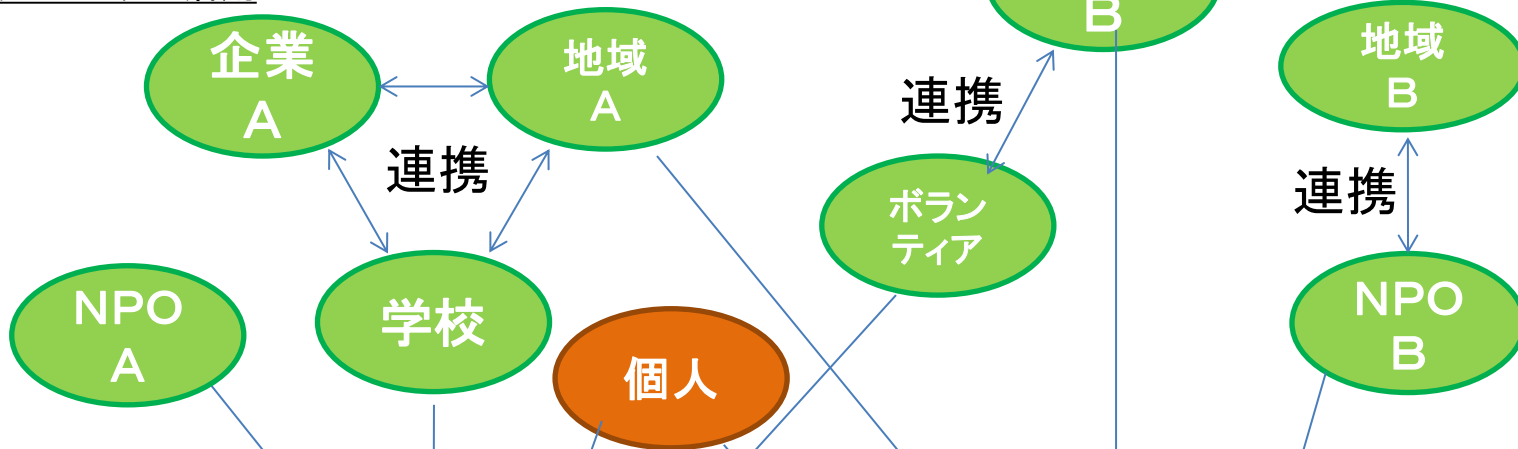
情報発信

情報発信

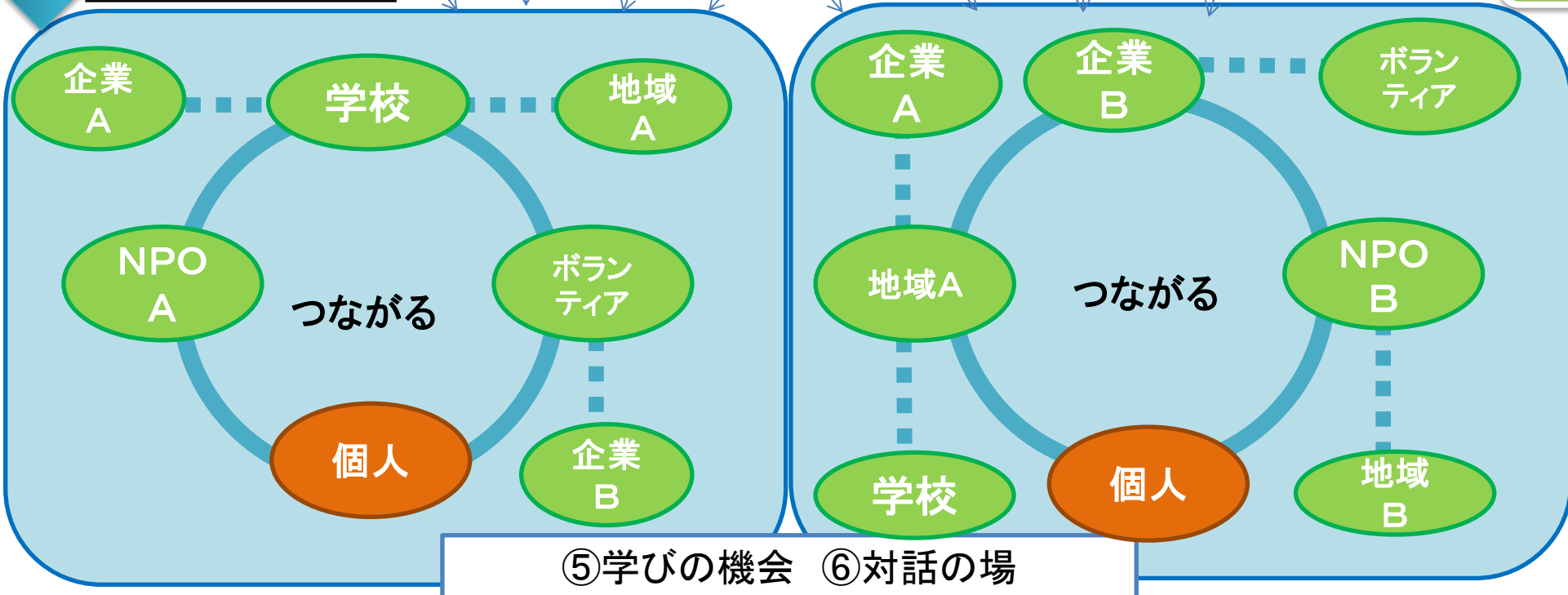
情報発信

情報を広める

- ④情報の流れ・浸透
 - ・ネットワークの活用



思いや考えの共有



⑤ 学びの機会 ⑥ 対話の場

情報を受け取る

情報の取捨選択

学び・気づき
情報受容

情報発信

情報の出し手にも！

共感

関心事の多様化

～年代・性別・生活環境～

様々な情報が溢れている

～広報誌、新聞、TV、インターネット、ラジオ、etc～

課題

多様な主体を集め、学びや対話の機会を設定することは、行政の大きな役割のひとつ認識します。そのような機会を活用して、多様な主体が繋がりネットワークの形成され、新たなまちづくり活動が展開されることが期待されます。それでは、どのような「場」にすれば、人は行ってみようと思うのでしょうか。委員各位がこれまで参加された、或いは自ら設定された「場」など、成功例や失敗例など、これまでの経験からご自由にご意見をいただければと思います。